

剣道の試合における係員の役割について

剣道の試合では、「剣道試合・審判規則及び同細則」に基づき、各試合場に審判主任 1 名、審判員数名、係員数名が配置されます。審判主任と審判員は各団体の指導者等（剣道経験者）が行いますが、係員は、特に小学生の地方大会では参加団体の父兄が担うことが多く、役割の理解が必要です。

係員には、時計係、掲示係、記録係、選手係があり、主な役割は以下のとおりです。

1. 時計係（原則主任 1 名、係員 2 名以上）

【役割】

各試合上に準備された合図用の旗（黄色の三角旗）、ストップウォッチ、電動ホイッスル等を使用し、試合時間を計るとともに、試合時間の終了を知らせる。

【注意点】

- ・ 試合時間は、小学生の場合は 2 分（三本勝負）が多いが、大会によって異なる場合があるので大会の要項等を確認する。
- ・ 時間が始まる場合の主審の合図：「始め」、「二本目」、「勝負」
- ・ 時間が止まる場合：審判の「止め」の合図（審判旗を垂直に上げる）、主審の有効打突の宣告（例：面あり）
- ・ 時間が止まらない場合：主審の「分かれ」の合図（審判は旗を水平に上げる）
- ・ 時間が止まっている時は旗を垂直に上げ、時間が進んでいる時は旗を下ろす。
- ・ 旗は、試合開始前に選手が試合場へ入ったら上げ、開始とともに下ろす。
- ・ 時間終了の合図と、選手の有効打突が同時の場合は、有効打突が優先する（審判の旗が上がった場合はいったん時間が止まる）。試合再開直後に、再度終了を知らせる。
- ・ 時間終了の合図は審判が気付くまで鳴らす（旗も上げ続ける）。

2. 掲示係（原則主任 1 名、係員 2 名以上）

【役割】

各試合上に設置された掲示板に、掲示物やマジック等で審判員の判定や試合経過を掲示する。

【注意点】

- ・ 個人戦の掲示は、掲示内容を直接トーナメント表に記入し、団体戦は対戦チーム毎に記入する。
（別紙 1 「対戦表の記録方法」参照）
- ・ 団体戦のリーグ表の掲示は、各試合終了後に素早く集計し、記録する。
（別紙 2 「リーグ表の記録方法」参照）
- ・ 団体戦では、試合順序を確認し、対戦チームのオーダー表（及び記録紙）を試合ごとに付け替える（ホワイトボードにマグネット式の掲示物を貼り付ける場合もある）。

- ・試合中は目を離さず、主審が宣告する有効打突の部位を聞き逃さない様に注意する。
- ・有効打突部位は、中学生以下の試合は面（メ）、小手（コ）、胴（ド）のみで、高校生以上では突き（ツ）が加わる。
- ・審判員、試合者、観客に試合経過が分かるように留意して掲示する。

3. 記録係（原則主任 1 名、係員 2 名以上）

【役割】

有効打突の部位及び反則の種類と回数ならびに試合の所要時間などを記録する。

【注意点】

- ・記録係は、小学生の大会では審判主任を務めることが多い。
- ・役割は掲示係と重複する点が多く、審判員の判定や試合経過を記録用紙等に記録します。
- ・各試合上の記録は、適宜大会運営本部へ報告され、大会の進行管理などに利用されます。

4. 選手係（原則主任 1 名、係員 2 名以上）

【役割】

選手の召集・用具などの点検にあたる。

【注意点】

- ・各試合場の対戦表を把握しておく。
- ・低学年の選手は試合順を把握していないことが多いので、早めの誘導が重要。
- ・選手の赤・白を確認し、正しくタスキが付けられているかチェックする。
- ・選手の着装もチェックし、乱れがある場合は選手に知らせる（または着け直す）。
- ・主審の右手側（本部席に向かって右側）が赤。
- ・不戦勝の場合、主審に欠席者を「赤（白）欠席です」と伝える。

○服装について

審判員の服装は剣道試合・審判細則で決められていますが、係員の服装は決められていないので、基本的には自由ですが、剣道の試合に相応しい服装を選んでください。

対戦表の記録方法

<個人戦トーナメント表の記録方法>

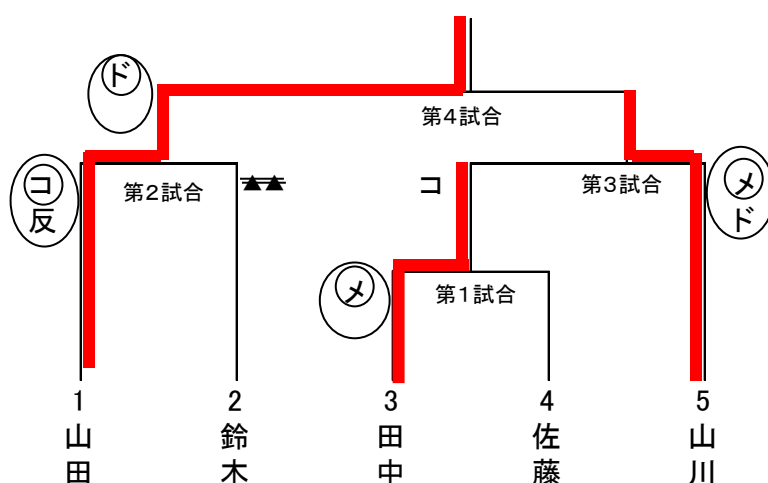
●トーナメント表の見方

1. トーナメントの左側（トーナメント表が横向きの場合は上）の選手が赤、右側（横向きの場合は下）の選手が白になる。選手番号がある場合は、番号が若い方が赤。
2. トーナメント表の左側（または上側）から順番に試合をおこなう。
3. 基本的には、シード選手の試合はあとに回して、小さい山から順番に試合を行う（※ただし、トーナメント表に試合順序が付けてある場合は、その順序に従う）。

●トーナメント表の記録方法

1. 面は”メ”、小手は”コ”、胴は”ド”を、取った方に記入する。
2. 反則は小さい▲で、記入欄の上端（又は下端）に、取られた方に記入する。
4. 最初的一本目の打突は小さな○で囲む（㊦、㊧、㊨）
5. 二本取るか、時間経過で勝敗が決したら、勝者側へ記入した文字の全体を大きな○で囲む。
6. 反則2つで一本になったら、▲▲を取り消し線（二重線など）で消して、相手側に”反”と記入する。
7. 判定勝ちの場合は、㊩と記入する。
8. 不戦勝の場合は、勝者側に”不”と記入する。

(記載例)個人戦トーナメント表



<団体戦対戦表の記録方法>

1. チーム名は赤を上、白を下に記入し、選手名を縦書きで記入する。
2. 面は”メ”、小手は”コ”、胴は”ド”を、取った方に記入する。
3. 反則は小さい▲で、記入欄の上端（又は下端）に、取られた方に記入する。
4. 最初の一本目の打突は小さな○で囲む (㊦、㊧、㊨)。マグネット式の掲示物を貼り付ける場合は、一本目が枠の最も外側になるように貼り付ける。
5. 二本取るか、時間経過で勝敗が決したら、勝者側へ記入した文字の全体を大きな○で囲む。
6. 反則2つで一本になったら、▲▲を取り消し線（二重線など）で消して、相手側に”反”と記入する。
7. 不戦勝の場合は、勝者側に”不”と記入する（不戦勝ちは二本勝ちと同等）。
8. 引き分けで試合が終了した場合は、枠の中心線の中央に”×”を記入する。

(記載例) 団体戦対戦表

所属	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	
太子剣道クラブ 赤が上	佐藤	鈴木	高橋	山本	伊藤	高橋
	○メ ○コ	○不	○コ	—▲▲		○メ
揖龍剣友会 白が下			○ド ×	○メ 反	○コ メ	
	渡辺	中村	小林	加藤	吉田	吉田

● (記載例) 団体戦対戦表の見方

- ・ 太子剣道クラブ（赤）と揖龍剣友会（白）の試合。
- ・ 先鋒戦：佐藤選手が面を先取し、さらに小手を取って二本勝ち。
- ・ 次鋒戦：中村選手が休みで、鈴木選手が不戦勝ち（不戦勝ちは二本勝ちと同等）。
- ・ 中堅戦：小林選手が胴を先取したが、高橋選手が小手を取り返して引き分け。
- ・ 副将戦：加藤選手が面を先取し、その後山本選手の反則2回で1本となり加藤選手の二本勝ち。
- ・ 大将戦：吉田選手が小手を先取し、さらに面を取って二本勝ち。
- ・ 赤が勝者数2、取得本数5、白が勝者数2、取得本数5で両者同点となり代表者戦へ。
- ・ 代表者戦：高橋選手と吉田選手が対戦し、高橋選手が面をとって勝ち。→赤の勝ち

リーグ表の記録方法

1. 分母（下段）に勝者数、分子（上段）に取得本数を記入し、勝ちを「○」、負けを「△」、引き分け（勝者数・取得本数同数）を「□」で囲む。
2. 勝数、勝者数、取得本数の合計を右端の欄に記入し、順位を付ける。
3. 勝数、勝者数、取得本数の合計が同数で、順位が同じになった場合は、大会のルールに従う（代表者戦による一本勝負で勝敗を決める場合が多い）。
4. 反則の回数は考慮しないが、反則 2 回で（「反」一本あり）になった場合は 1 本としてカウントする。

※ 勝ち点方式（勝ち 1 点、引き分け 0.5 点、負け 0 点など）の場合もあるので、大会要項等を確認すること。

● 試合例 1～6 を参考にリーグ表を付けた場合、記載例のようになる。

（記載例）リーグ表 勝ち点方式の場合

	Aチーム	Bチーム	Cチーム	Dチーム	勝数	勝者数	取得本数	順位
Aチーム		$\frac{5}{2}$	$\frac{3}{1}$	$\frac{5}{2}$	2	5	13	2
Bチーム	$\frac{5}{2}$		$\frac{5}{2}$	$\frac{4}{2}$	2	6	14	1
Cチーム	$\frac{2}{1}$	$\frac{3}{1}$		$\frac{4}{2}$	0	4	9	4
Dチーム	$\frac{3}{1}$	$\frac{4}{1}$	$\frac{4}{2}$		0	4	11	3

分母(下段)の合計。
分子(上段)の合計。
勝数同数の場合は勝者数が多い方が順位が上。
勝数、勝者数同数の場合は取得本数が多い方が順位が上。

試合例 1

所属	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
Aチーム	佐藤	鈴木	高橋	山本	伊藤
Bチーム	渡辺	中村	小林	加藤	吉田

試合結果: A佐藤 vs B渡辺 (○), A鈴木 vs B中村 (○), A高橋 vs B小林 (□), A山本 vs B加藤 (△), A伊藤 vs B吉田 (△)

試合例 2

所属	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
Cチーム	山田	田中	内山	山下	田村
Dチーム	中田	渡辺	青山	岡村	矢野

試合結果: C山田 vs D中田 (○), C田中 vs D渡辺 (□), C内山 vs D青山 (△), C山下 vs D岡村 (○), C田村 vs D矢野 (□)

試合例 3

所属	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
Aチーム	佐藤	鈴木	高橋	山本	伊藤
Cチーム	山田	田中	内山	山下	田村

試合結果: A佐藤 vs C山田 (○), A鈴木 vs C田中 (×), A高橋 vs C内山 (×), A山本 vs C山下 (○), A伊藤 vs C田村 (×)

試合例 4

所属	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
Bチーム	渡辺	中村	小林	加藤	吉田
Cチーム	山田	田中	内山	山下	田村

試合結果: B渡辺 vs C山田 (△), B中村 vs C田中 (○), B小林 vs C内山 (□), B加藤 vs C山下 (○), B吉田 vs C田村 (□)

試合例 5

所属	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
Bチーム	渡辺	中村	小林	加藤	吉田
Dチーム	中田	渡辺	青山	岡村	矢野

試合結果: B渡辺 vs D中田 (×), B中村 vs D渡辺 (×), B小林 vs D青山 (□), B加藤 vs D岡村 (△), B吉田 vs D矢野 (△)

試合例 6

所属	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
Aチーム	佐藤	鈴木	高橋	山本	伊藤
Dチーム	中田	渡辺	青山	岡村	矢野

試合結果: A佐藤 vs D中田 (○), A鈴木 vs D渡辺 (×), A高橋 vs D青山 (×), A山本 vs D岡村 (○), A伊藤 vs D矢野 (□)